



平成 22 年 7 月 22 日

各 位

会社名 札幌北洋ホールディングス  
 (コード番号 8328 東証第 1 部・札証)

## 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の業績(速報値)について

札幌北洋グループの平成 23 年 3 月期第 1 四半期業績の概要について、現時点における見通し(速報値)を下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の業績の概要

- ・札幌北洋グループ連結の「四半期純利益(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)」は、58 億円(前年比 36 億円減少)の見通し。北洋銀行単体では、76 億円(前年比△18 億円)と中間業績予想の 75 億円を第 1 四半期で上回る見通し。
- ・北洋銀行の「資金量末残」は、6 兆 8,170 億円(前年比 1,324 億円増加)の見通し。
- ・北洋銀行の「貸出金末残」は、5 兆 542 億円(前年比 781 億円増加)の見通し。
- ・北洋銀行の「その他有価証券評価損益」は、639 億円(3 月末比 174 億円減少)の見通し。
- ・北洋銀行の「金融再生法開示債権」は、1,976 億円(3 月末比 21 億円増加)の見通し。  
「開示債権比率(部分直接償却後)」は、2.85%(3 月末対比 0.10 ポイント上昇)の見通し。
- ・北洋銀行の「自己資本比率」は、10.8%程度(3 月末比 0.5 ポイント程度上昇)の見通し。

(単位：億円)

	平成 22 年 3 月期 第 1 四半期会計期間 (実績)	平成 23 年 3 月期 第 1 四半期会計期間 (速報値)	前年比
四半期純利益(連結)	94	<b>58</b>	△36
四半期純利益(北洋銀行)	94	<b>76</b>	△18

(単位：億円)

	平成 21 年 6 月末 (実績)	平成 22 年 6 月末 (速報値)	前年比
資金量末残(北洋銀行)	66,846	<b>68,170</b>	1,324
貸出金末残(北洋銀行)	49,761	<b>50,542</b>	781

(単位：億円、%)

	平成 22 年 3 月末 (実績)	平成 22 年 6 月末 (速報値)	3 月末比
その他有価証券評価損益(北洋銀行)	813	<b>639</b>	△174
金融再生法開示債権(北洋銀行) (開示債権比率)	1,955 (2.75)	<b>1,976</b> <b>(2.85)</b>	21 (0.10)
自己資本比率(北洋銀行)	10.26	<b>10.8 程度</b>	0.5 程度

※ 資金量=預金+譲渡性預金

※ 金融再生法開示債権額は部分直接償却前の金額、開示債権比率は部分直接償却後の比率

## 2. 損益の概要(札幌北洋グループ連結)

- 平成23年3月期第1四半期会計期間の連結コア粗利益は、資金利益が前年比25億円増加(リスク削減に伴う投信解約益25億円計上)したことを主因に、320億円と前年比21億円増加の見通し。
- 経費(除く臨時処理分)は、銀行経費が前年比13億円増加(物件費+7億円、人件費+6億円等)したことにより、202億円と前年比14億円増加の見通し。結果として、連結コア業務純益は118億円と前年比7億円増加の見通し。
- 経常利益は、信用コストの若干の増加と有価証券等関係損益の減少により、96億円と前年比15億円減少の見通し。
- 北洋銀行の優先株に対する配当金(17.7億円)を少数株主利益として計上したことなどから、連結の四半期純利益は58億円と前年比36億円減少の見通し。

### 【札幌北洋グループ連結】

(単位：億円)

	平成22年3月期 第1四半期 (実績)	平成23年3月期 第1四半期		(ご参考) 平成23年3月期(中間業績予想)		
		(速報値) ①	前年比	中間業績 予想②	四半期相当 ③(②/2)	①-③
経常収益	464	455	△9	840	420	35
連結コア粗利益	299	320	21	595	297	23
資金利益	238	263	25			
役員取引等利益	48	51	3			
その他業務利益	12	6	△6			
経費(除く臨時処理分)	188	202	14	390	195	7
連結コア業務純益	111	118	7	205	102	16
信用コスト	20	27	7	115	57	△30
有価証券等関係損益	20	1	△19	0	0	1
経常利益	111	96	△15	95	47	49
四半期(中間)純利益	94	58	△36	75	37	21

※ 連結コア粗利益 = 資金利益 + 役員取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

### 【ご参考：北洋銀行】

(単位：億円)

	平成22年3月期 第1四半期 (実績)	平成23年3月期 第1四半期		(ご参考) 平成23年3月期(中間業績予想)		
		(速報値) ①	前年比	中間業績 予想②	四半期相当 ③(②/2)	①-③
経常収益	383	372	△11	680	340	32
コア業務粗利益	283	305	22	564	282	23
資金利益	236	262	26			
役員取引等利益	38	39	1			
その他業務利益	8	3	△5			
経費(除く臨時処理分)	184	197	13	381	190	7
コア業務純益	99	108	9	183	91	17
信用コスト	5	16	11	95	47	△31
有価証券等関係損益	20	1	△19	0	0	1
経常利益	115	95	△20	93	46	49
四半期(中間)純利益	94	76	△18	75	37	39

### 3. 主要勘定残高(北洋銀行)

- ・資金量末残は、個人預金、法人預金及び公金預金とも増加し、6兆8,170億円と前年比1,324億円の増加の見通し。
- ・預かり資産末残は、公共債保護預かり及び投資信託が減少した一方、個人年金保険等の販売が依然として好調に推移しており、7,090億円と前年比381億円の増加の見通し。
- ・貸出金末残は、個人向け及び地公体向け貸出の増加を主因に、5兆542億円と前年比781億円増加の見通し。
- ・有価証券は、価格変動リスクの高い有価証券を削減する一方で、国債等の保有を増加させたことにより、1兆7,040億円と前年比448億円増加の見通し。

【北洋銀行】

(単位：億円)

	平成21年6月末 (実績)	平成22年6月末 (速報値)		
			前年比	年率
資金量	66,846	<b>68,170</b>	1,324	1.9%
預かり資産	6,709	<b>7,090</b>	381	5.6%
貸出金	49,761	<b>50,542</b>	781	1.5%
有価証券	16,592	<b>17,040</b>	448	2.7%

※ 資金量 = 預金+譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり+投資信託+個人年金保険等(販売累計額)

### 4. その他有価証券の評価損益

- ・その他有価証券の評価損益は、相場下落の影響等により、北洋銀行では、639億円と3月末対比174億円減少の見通し。

【北洋銀行】

(単位：億円)

	平成22年3月末 (実績)	平成22年6月末 (速報値)	
			3月末比
その他有価証券	813	<b>639</b>	△174
株式	274	<b>269</b>	△5
債券	270	<b>335</b>	65
その他	268	<b>34</b>	△234

<ご参考>

	平成22年3月末	平成22年6月末	3月末比
日経平均株価 (円)	11,089	<b>9,382</b>	△1,707
新発10年国債利回り (%)	1.395	<b>1.085</b>	△0.310

## 5. 金融再生法開示債権(北洋銀行)

- ・金融再生法開示債権は、ランクダウンの増加等により、1,976億円と3月末対比21億円増加の見通し。
- ・開示債権比率(部分直接償却後)は、2.85%と3月末対比0.10ポイント上昇の見通し。

【北洋銀行】

(単位：億円、%)

	平成22年3月末 (実績)	平成22年6月末 (速報値)	3月末比
破産更生等債権	772	784	12
危険債権	822	828	6
要管理債権	360	363	3
金融再生法開示債権	1,955	1,976	21
(開示債権比率)	(3.65)	(3.82)	(0.17)
※部分直接償却後	1,462	1,457	△5
(開示債権比率)	(2.75)	(2.85)	(0.10)

※ 当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

※ 開示債権比率＝金融再生法開示債権÷総与信×100

## 6. 自己資本比率(概算値)

- ・22年6月末の自己資本比率(概算値)は、北洋銀行で10.8%程度と、3月末対比で0.5ポイント程度上昇の見通し。

【北洋銀行】

(単位：%)

	平成22年3月末 (実績)	平成22年6月末 (概算値)	3月末比
自己資本比率	10.26	10.8程度	0.5程度
Tier I比率	6.69	7.1程度	0.4程度

以上

業績速報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績速報値とは異なる可能性があります。